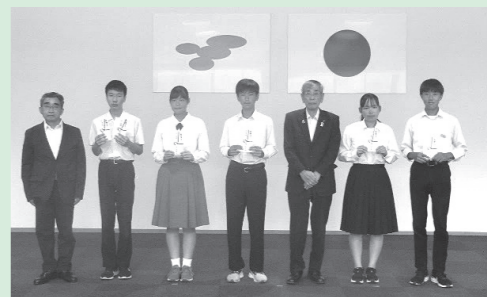


第52回全日本中学生ホッケー選手権大会 第52回全国中学校剣道大会

激励式

第52回全日本中学生ホッケー選手権大会および第52回全国中学校剣道大会の出場選手に対する激励式が8月16日、役場仁多庁舎でありました。選手代表の5名が参加し、大会への意気込みを述べました。



写真(左から):教育長、服部航平さん(横田中剣道部団体主将)、細川美那さん(横田中女子ホッケー一部主将)、古澤知宙さん(横田中男子ホッケー一部主将)、町長、山根咲弥さん(仁多中女子ホッケー一部主将)、吉川亮明さん(仁多中男子ホッケー一部主将)

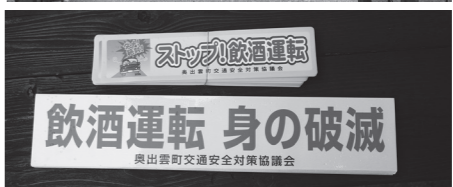
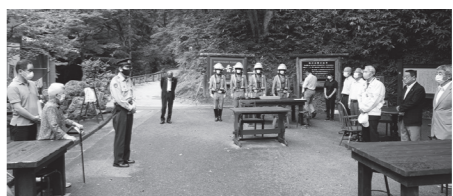
大会の結果

全国中学校剣道大会は、北海道釧路市で8月20日から21日にかけて、また、全日本中学生ホッケー選手権大会は、宮城県栗原市で8月20日から22日にかけて開催されました。結果は次の通りです。

| | |
|------------------|------------------------|
| 全国中学校剣道大会 | 全日本中学生ホッケー選手権大会 |
| 横田中学校剣道部 | 横田中学校ホッケー部 |
| 男子団体 初戦敗退 | 男子 優勝(2に連勝) |
| 男子個人 初戦敗退 | 女子 決勝トーナメント1回戦敗退 |
| | 仁多中学校ホッケー部 |
| | 男子 準々決勝勝利 |
| | 女子 決勝トーナメント1回戦敗退 |

飲酒運転根絶啓発。パトロール出発式

飲酒運転根絶のための雲南警察署と奥出雲町交通安全対策協議会の共催による啓発パトロールの出発式が8月4日、鬼の舌震において開催されました。



出発式では、雲南警察署から「飲酒運転100%なくし大使」に委嘱されている山田文子さんが「根絶活動にご協力をお願いします。一緒に飲酒運転をなくしましょう」と提言しました。

その後、式に参加した奥出雲町交通安全対策協議会の会員が作成した啓発用ステッカーを自動車に貼り付け、町内各所に出発しました。

奥出雲町魅力発信 SNSにイベント情報が掲載できます!

町が運用するInstagram及びFacebookのアカウントに町内で開催される様々なイベント、行事を周知します!

掲載するイベント

- 下記事項のいずれかに該当するもの。
- 町もしくは町教育委員会が共催、後援するイベント
- 町もしくは町教育委員会が助成する事業のイベント

申込方法

開催日または申込締切日の14日前までに、下記URL等から申請フォームにアクセスして申込してください。

URL

<https://forms.gle/pcwRE3szWGfte4KQA>



【お問い合わせ】

企画財政課ブランド推進グループ
有線31-5247 電話54-2522

知ろう 認知症! 9月21日は「世界アルツハイマーデー」です

世界アルツハイマーデー・世界アルツハイマー月間とは?

1944年「国際アルツハイマー病協会」は、世界保健機構(WHO)と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、この日を中心に認知症の啓発を実施しています。2012年からは、9月を「世界アルツハイマー月間」と定め各地で様々な取り組みを行っています。

【2022年度アルツハイマーデー 標語】
わすれても
あなたはあなたのままでいい



アルツハイマー病(アルツハイマー型認知症)とは脳の神経細胞が通常より早く減ってしまうことで認知機能が徐々に低下していき認知症を引き起こす病気の一つです。認知症の中で全体の6割を占めると言われています。

【知ろう、学ぼう、認知症】

毎年9月21日を中心に各地で様々な啓発活動が行われています。島根県では島根芸術センターグラントワがオレンジ色にライトアップされ、県内で街頭活動も行われる予定です。奥出雲町では9月12日～26日までカルチャープラザ仁多図書室で認知症についてパンフレットや冊子を表示・配布します。この機会に認知症について学んでみませんか。

◆お問合せ先 奥出雲町地域包括支援センター 有線:31-5133 電話:54-2512

4月1日に着任した、地域おこし協力隊3人の活動を紹介しします。

坂下柊さん(岩手県宮古市出身)



奥出雲町に移住したきっかけを教えてください。教育の観点で「人生の分岐点」に関わる仕事がしたいと考えていました。そのことを島根県出身の友人に話したところ、島根の教育は「熱いよ」と教えてもらい、島根県に興味を持ち、情報収集していた時に、奥出雲町の地域おこし協力隊で横田高校の高校魅力化コーディネーターが募集されていたことを知り応募しました。

横田高校魅力化コーディネーターとしての目標はありますか?

横田高校に進学してきた生徒が、チャレンジしたいことにチャレンジできるような環境を作っていく、生徒たちの「やってみよう」を増やせるように地域と連携しながら面白い仕掛けづくりをしていきたいです。そして、卒業するときに「横田高校に来てよかった」と思える学校づくりを目指していきます!

奥出雲町に実際に住んでみてどうですか?

ゴールデンウィーク中に道の駅おろちろで働いてきました。お客さまと接する中で、トロッコ列車の撮影に来られる撮り鉄の方や、奥出雲町のそばを食べに来られる方など、本当に多くの方が奥出雲町へ訪れることに驚きました。同時に、奥出雲町には沢山の観光資源があることを知り、もっと多くの方に魅力を知っていただきたいなと思っています。

山根裕子さん(出雲市出身)



奥出雲町に移住したきっかけは、ふるさとしまね定住財団の紹介もあり奥出雲町を知ったのですが、たまたま奥出雲町で「地域おこし協力隊・農業版マルチワーカー」を募集されていたので、すぐに応募し、みごと合格できたので、こちらに移住することができました。以前から、「米を作りたい」で酒蔵で働いていて、そこでお酒を作っていたんですね。

今の仕事はいかがですか?

私には、農業をやりたい気持ちと元気な身体はありますが、残念ながら「経験値」や「知識」がないんですね。だから阿井地区の法人の方から「経験」「知識」はあふれるほどにいただいています。

法人の皆さんからは、「だんだん身体に無理がきかなくなっている年齢になってきた」と言われるんです。だから「法人の皆さんから聞いて学んだことを、私が動いて作業する」それでバランスが取れている感じですね。「できない理由を探さない」というモットーを持って突き進んでいる感です。どうしたらできるかを考える。それがまさに実現される仕事場にもなっています。地域の皆様に日々感謝で、幸せな毎日です。いつかこのご恩返しをできるようなことがしたい!と強く思っています。

今後の人生は?

ずっと農業をやりたいなあと思っています。理想は、人を雇って農業経営できるまでになれるといいなあと思っています。地域おこし協力隊員の中でも農業女子が三人いるので「共同経営」ができればいいな!なんて夢を語っているところです。

石亀五郎さん(東京都江戸川区出身)



奥出雲町に移住したきっかけは、2020年4月に就職したんですが、独立してもっと自分のやりたいことをしたいという思いが強くなり、退社を決意し、次なる拠点探しのために車1台で日本一周の旅に出ました。

奥出雲町へ訪れた後も日本一周の旅は続け、面白いところは何がありましたか?

奥出雲町へ訪れた後も日本一周の旅は続け、面白いところはたくさんありましたが、奥出雲町が外からの人を求めておられるような空気を感じ、地域おこし協力隊に応募しようと決めました。

起業コーディネーターとはどのようなお仕事ですか?

新たに起業をされたいと思っておられる方の相談や、起業をされる方の伴走支援をおもに行います。例えばカフェを開きたいと相談があった時に、お店の場所や経営の計画などを相談があったその人と一緒に考え、起業に向けた準備のお手伝いをするというものです。

奥出雲町へ来てみてどうですか?

奥出雲町はたくさんの方の魅力が溢れているなあと感じます。まず、仁多米をはじめ食材がとても美味しく、感動しました。地元に住んでいる人にとっては当たり前のようなものが、自分からするとこんなに魅力で溢れている町はないと感じさせてくれます。このたくさんあふれる魅力を町外の人にもっと広く知ってもらうためにも活動していきたいです。